シラバス参照（経営情報論）

開講科目名 Course	経営情報論／Management Informations
時間割コード Course Code	30030
開講所属 Course Offered by	大学共通／
開始年度・学期 Start Year・Semester	2024 年度／Academic Year　　前期
曜限 Day, Period	月／Mon　1
開講区分 semester offered	前期／.
単位数 Credits	2.0
学年 Year	3,4
主担当教員 Main Instructor	小川　哲司
科目区分 Course Group	専門科目群 専門科目／SPECIALIZED SUBJECTS Specialized Subjects
教室 Classroom	７５Ｂ大講義室
講義形式 Lecture Style	講義科目
授業の目標	情報通信技術が進展していく中で、企業経営において情報要素を戦略的に取り入れる必要がある現状を踏まえ、最新の情報通信技術の動向やトピックを理解しながら、企業経営やビジネスにおける情報通信技術の活用方法や変革方法を理解することを目標とする。 ＜学習成果＞ ◆知識・理解の領域 　企業経営における情報の関わり方を理解して、情報通信技術の必要性を説明することができる。 ◆技能の領域 　経営やビジネスに求められる情報通信技術の基本的な知識を身に付けて、ケースを

シラバス参照（経営情報論）

	分析して考察結果を自らの言葉で分かりやすくレポートできる。 ◆態度・志向性の領域 　企業経営と情報通信技術に関わる最新の話題やトピックなどに興味を示し、自分自身で考察しようとする姿勢が醸成される。
授業の概要	情報通信技術の進展により、サービス形態や働き方が大きく変化するなかで、競争力のある経営やビジネスを展開していくためには、情報通信技術の活用は欠かせない状況にある。 この講義では、情報通信技術を経営にどう活用していくのかという視点で、最新の技術や事例などを通じて、企業経営と情報通信技術の関係性について理解する。 ■この科目の位置づけについては、本学ＨＰのナンバリングを参照のこと。
評価方法	●評価方法 毎回の授業内で実施する小テスト（50%） 期末レポート（50%）
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	出席回数が 10 回に満たない場合
授業計画	第 1 回　情報社会の特性と変化 第 2 回　経営情報の役割 第 3 回　情報通信技術の特性と役割 第 4 回　情報通信サービスの特徴と動向 第 5 回　IoT の特性とビジネスへの活用 第 6 回　ビッグデータの価値と活用 第 7 回　プラットフォームビジネス 第 8 回　経営情報システムに関連する技術 第 9 回　AI の特性とビジネスへの活用 第 10 回　デジタルトランスフォーメーション 第 11 回　経営情報システムの課題 第 12 回　経営情報システムの開発手法 第 13 回　情報通信技術による働き方の変化 第 14 回　シェアリングビジネス 第 15 回　情報通信技術によるビジネスモデルの変化
テキスト	教員が作成する資料を配布して、授業を進める。
参考書	遠山曉　・村田潔　・古賀広志　『現代経営情報論』有斐閣アルマ
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない

シラバス参照（経営情報論）

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当する
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	◆実務経験のある教員による授業 情報通信業界にて、システム開発やマーケティングなどの業務経験を有する教員が、経営と情報の関わりについて実践的な観点より解説する科目である。
質問への対応方法	基本的にはメールで回答します。
フィードバックの方法	翌週の授業までに返却する。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	毎回の授業において、次回テーマに関連する文献調査、情報の分析、資料作成などに4時間の準備が必要となる。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROG リテラシーの要素	1.情報収集力 2.情報分析力
PROG コンピテンシーの要素	7.課題発見力

No.	回 Time	主題と位置付け（担当） Subjects and position in the whole course	学習方法と内容 Methods and contents	備考 Notes
1	1回	情報社会の特性と変化	ICT（情報通信技術）の進展、データ駆動型社会と Society 5.0 などについて確認して、社会で起きている変化を考察する。	応用基礎レベル 1-1 応用基礎レベル 2-1
2	2回	経営情報の役割	企業における経営情報の役割、必要性について確認する。	
3	3回	情報通信技術の特性と役割	経営情報における情報通信技術の特性と役割を確認する。	
4	4回	情報通信サービスの特徴と動向	情報通信業界の歴史を紐解き、現在の立ち位置を確認する。	
5	5回	IoT の特性とビジネスへの活用	IoT の特性を踏まえ、データサイエンス活用事例（（仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など））を紹介する。	応用基礎レベル 1-1
6	6回	ビッグデータの価値と活用	ビッグデータを収集・蓄積して、ビッグデータ活用して価値を創出する事例を確認する。 人の行動ログデータ、機械（IoT）、ソーシャルメディアデータなどを可視化して活用する事例を取り上げる。	応用基礎レベル 2-1

シラバス参照（経営情報論）

7	7 回	プラットフォームビジネス	プラットフォームビジネスの概要や課題について確認する。	
8	8 回	経営情報システムに関連する技術	クラウドサービス、データベース、仮想化など経営情報システム構築に不可欠な技術を紹介する。	応用基礎レベル 2-1
9	9 回	AI の特性とビジネスへの活用	AI についての歴史（推論、探索、機械学習、深層学習など）、分類（強い AI/弱い AI）、実現できること（学習、認識、予測・判断など）などを押さえた上で、AI 技術の活用領域の広がりを確認する。	応用基礎レベル 3-1
10	10 回	デジタルトランスフォーメーション	情報システムの課題と、DX の必要性について確認をする。	
11	11 回	経営情報システムの課題	各業界における情報システムの特性と課題について確認をする。	
12	12 回	経営情報システムの開発手法	情報システムの形態とともに、情報システムの開発手法について確認をする。	
13	13 回	情報通信技術による働き方の変化	企業の働き方の変化と、情報通信技術の役割について確認をする。	
14	14 回	シェアリングビジネス	シェアリングエコノミーを用いたビジネスについて確認をする。	
15	15 回	情報通信技術によるビジネスモデルの変化	情報通信技術によるビジネスモデルの変化や、ビッグデータを活用した新しいビジネスモデルについて解説をする。	応用基礎レベル 2-1